

# 相馬支援学校 単元案



本校の学校教育目標		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力	自ら考え、協働し、課題を解決していく力	自ら進んで考え、学ぼうとする力
高等部		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
自立と社会参加のために必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力	自分の考えを持ち、他者を理解し、課題を解決していく力	自ら進んで考え、学ぼうとする力

## 【資質・能力の育成のための教育活動として】

作業学習 単元案	単元名	販売会の準備をしよう。
----------	-----	-------------

【単元で育成する資質・能力】 合計時間 26時間 指導者：室井郷司 他

教科	領域	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
職業	2段階 A ア イ	職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。	将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。	よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。
国語	1段階	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
社会	1段階	社会参加するための必要なきまりについて、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の特色や相互の関連や意味を多角的に考えたり、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを表現したりする力を養う。	社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする力を養う。 多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚や、我が国の将来を担う国民としての自覚等を養う。
情報	1段階 B	効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。	身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。	身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。
道徳		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に捉え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		

## ＜内容のまとめりごとの評価規準＞

	領域	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
職業	2段階 Aア (ア) (イ) (ウ)	勤労の意義について理解を深めている。	目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現している。	作業を通して貢献する喜びを感じたり、目標や計画性をもって主体的に取り組もうとしたりしている。
	2段階 Aイ (ア) (イ) (ウ)	材料の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。	生産や生育活動に係る技術に込められた工夫について考えている。	材料の特性や扱い方に関わる技術について理解を深めようとしたり、生産や生育活動により地域社会へ貢献しようとしたりしている。
国語	1段階 (カ) Aエ	日常よく使われる敬語を理解し、使っている。	相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	日常よく使われる敬語を使おうとしたり、相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫したりしようとしている。
社会	1段階 A (ア) ウ	地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付けている。	社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現している。	社会生活の中での自分の役割や責任について考えたり、地域の中での自分の役割を果たそうとしたりしようとしている。
情報	B A (ウ) イ (ウ)	身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けている。	効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの効果的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫している。	身近にある情報デザインの基本的な考え方や方法について知り、基礎的な技能を身に付けようとしたり、表現を工夫したりしようとしたりしている。
道徳	C 社会参画・ 公共の精神	社会参加の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めている。		

**単元構想のためのメモ欄**

- セデッテかしま（鹿島PA内）にネギを出荷している納品している農家さんから、ネギに貼るラベル作りの依頼をいただいた。製作した紙で自分たちができることについて考え、社会（地域）参加、社会参画に導く。1次ではラベル作りを行う製品開発、2次では1次での学びを生かし、既存の製品を中心に作成しつつ、1月31日の作業製品展示即売会に向けて自分たちの製品のラベル作り等の作業活動を行う。
  - 作業活動の前後に、単元の流れ、授業の流れに伴う各教科の資質・能力を育む時間を取り入れて、自然な形で指導を行うようにする。
  - 各教科等の目標・内容を明確にし、単元の中で扱うことによって、学びの最適化を図る。教科別の指導ではなく、作業学習（各教科等を合わせた指導）で行う意義として、将来の職業生活や社会自立に向けて基盤となる資質能力に関して、「将来の自立した生活」に向けたイメージがしやすい点や、作業活動の中で実践あるいは般化を行うことができることが挙げられるため、それらを意識しながら授業を展開していく。
- ※各教科について【一部、特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編（高等部）より抜粋。】

**職業科高2段階Aア 勤労の意義**

- ・自分たちが取り組んでいる生産や生育活動等が社会貢献につながる事が分かり、働くことの意義を実感することができるようにすること。製品や作物、作業活動等の社会的な有用性についても着目し、地域での販売や作業を通じた地域貢献などの実践的・体験的な学習活動を通して理解を深める。
- ・自分や他者の成果を確認することにより、自分の役割に対する責任や協力することの意義を考え、表現すること。作業を通して関わる他者に対する望ましい関わり方や態度について、それぞれの役割や仕事の分担などを踏まえて考える。

**職業科高2段階Aイ 職業**

- ・ネギの特徴を理解すること。自分たちが作成した製品としての紙の特性について知識を深める。それらの特徴や特性を踏まえたラベル加工を適切に行うための紙について（厚さや品質）考える。
- ・ラベルの製造において、それぞれの工程でどのような工夫がなされているか考える。自分たちが制作したラベルに係る技術を、安定供給、品質、収量等の確保等の視点で評価し、技術に対する意識を高める。

**国語科高1段階(カ)Aエ**

- ・納品する際に（リモートや動画の可能性あり）、尊敬語や謙譲語を使う。相手や場面に応じた敬語を知り、使う経験を重ねていく。
- ・相手に伝わるように、相手との親疎や人数、目的や場の状況に応じて、声の出し方や言葉遣い、視線等に気を付けて話す。

**社会科高1段階ア(ア)㊦**

- ・地域の中で自分の役割や責任を果たす際に、周囲のことを考えながら行動したり、周囲の役割などを調整したりすることの大切さを理解する。周囲のことを考えることを通して、自分の役割を果たすためには周囲の人々との協力が必要不可欠であることが分かるようにする。
- ・社会生活の中で自分の立ち位置を認識し、自分がなすべき役割とその行動が及ぼす影響について積極的に考える。

**情報科高1段階Bア(ウ)イ(ウ)**

- ・効果的なコミュニケーションを行うために、目的や受け手の状況に応じたコンテンツの制作過程、情報デザインの基本的考え方や方法について知り、技能を身に付ける。
- ・情報デザインの基本的な考え方や方法を用いて、表現の仕方を工夫しながらコンテンツを制作する力を養う。

**特別の教科 道徳**

- ・協働生活を営む人々の集団である社会の一員として、その社会における様々な計画に積極的に関わろうとすること。個人が安心・安全によりよく生活するためには、社会の形成を人任せにするのではなく、主体的に参画し、社会的な役割と責任を果たす。

**教科等横断的な視点に立った資質・能力**

- ・情報活用能力…ICT等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理したりする力の育成を図る。
- ・生活力や地域力の育成…地域の人々と連携・協力したり、地域での体験活動等、ともにアイデアを出し合い創造したりする経験をしながら、互いに尊重し、ともに生きていく力を育む。
  - ・ICT等の情報機器を活用しながら、「地域の力になる生徒」「地域に貢献する力」を育む。

**キャリア発達を促す教育の視点（基礎的・汎用的能力）**

- ・課題対応能力…仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することのできる力。

**【教科等横断的な視点に立った資質・能力】**

学習の基盤となる 資質・能力		現代的な諸課題に対応して求められる 資質・能力			相馬支援学校 ならではの力	
言語能力	情報活用 能力	問題 発見・解決 能力	地域で起こる 災害等への緊急 時に対応する 力の育成	生活力や地域 力の育成	感染症、肥満、 運動不足等の自 身の健康・安全 に関する力の育 成	自己理解・自己 実現の育成

**【キャリア発達を促す教育の視点】**

人間関係形成・ 社会形成能力	自己理解・ 自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
-------------------	-----------------	--------	--------------

「何を、いつ、どのように」育んでいくのか

展開	日程 (時数)	評価規準○						●どのように【学習活動】 <b>主・対・深</b> どのような指導で(習得、活用、探究)
		教科名 (担当)	知・技	思判表	主	横断	キャ	
一次	11/24 (2)	職業 AI (室井)	○					●依頼が来た！ネギについて知ろう。 主・対 依頼を受けたことを実感することができるよう、依頼をいただいた方からのビデオを鑑賞し、ネギの作り方や依頼の内容について知る。 主・深 具体的な販売してある実際のネギを見て、大きさや長さ等の具体的なイメージを掴む。
	11/28 (3)	職業 AI (室井)	○	○				主・深 自分たちが製作した紙で、農家の方に協力・貢献できること(自分たちができること)について考えることで、自分たちの製品として紙の特性と自分たちが住む地域に関する知見を広げる。
		情報 (大関)	○				情	●ラベルってなんだろう？調べてみよう。 主・対 ペアで野菜のラベルの画像検索等を行い、Jamboard に集約し、野菜のラベルにはどのような情報があり、どのような工夫がなされているか考える。
	11/30 (3)	情報 (大関) (室井)		○	○			●ネギのラベルを作ろう。 主・対 PowerPoint における情報デザイン(文字のフォント、文字の大きさ、文字の色、画像添付、文字や画像の配置)の技能を、パソコンを操作しながら習得する。 主・深 ラベルに必要な情報について再度確認し、作成を行う。
	12/1 (2)	国語 (村木)	○	○	○			●言葉遣いや話し方を身に付け、納品しよう。(リモート、ビデオでのやりとり) 主・深 依頼された方と自分たちが職業上どういった関係にあたるのか知り、敬語や話し方を実践する。 対 ペアでロールプレイや話し方の練習を行い、ビデオに録画し、互いに見返すことでよりよい話し方について考え、実践する。
	12/8 (2)	社会 (室井)	○	○			地 情	●社会参加するための、自分や周りの役割について考えよう。 主・対 自分たちが生活する地域に関することについて調べ、共有することで様々な人が様々な役割を担っていることを知る。 主・深 地域で生きる一員として、自分が地域のためにできること(役割)と、その意義について考える。
		情報 (室井) 【本時】	○	○			課	●試作品の感想を受け、よりよいラベルについて考え、製作しよう。 ※試作品の中から、依頼された方に5つ程度に絞ってもらい、感想をいただく。(生徒はビデオで視聴) ①ラベルのデザインを工夫・改善しよう。(本時) 主・対 よりよいラベルにするための課題と改善点についてグループで話し合うことで、行うべきことや指針を明確にする。
	12/9 (3)	職業 AI (室井)		○			課	②ラベルに適した紙を渡そう。 主・深 売り物としてのネギの特性や、売っている場面について再度確認し、どのような紙の質であれば良いか考え、紙を渡そう。
		社会 (室井)	○	○	○			●納品しよう。 主・対・深 ラベル作りが地域貢献につながることを踏まえ、今回行った作業(働くこと)の自他の役割や意義について考える。
	12/12 (3)	道徳 (富村)		○			地	●ラベル作りの実践から、社会参画について考えよう。 主・対 今回学んだことや感じたこと等、経験や体験を一人一人振り返りながら、社会的な責任や役割について考える。
職業 AI (室井)			○	○			●製品製作・ラベル・ポップづくりをしよう。 ※紙漉き作業・製品製作・ラベル作りを実態や状況に合わせて行う。 主・深 印刷用紙、ハガキ、カレンダー、名刺等、それぞれの製品に適した紙の質について考え、その品質の紙を漉くにはどうすればよいか、具体的に考え、紙を漉く(パルプ水を何杯入れればよいか、等)	
二次	12/14 (3)	職業 AI (室井)		○	○			主・深 ラベル作りで得た情報科に関する知識・技能を生かして、自分たちの製品のラベルづくりを行う。また、相農ショップや咲笑祭の販売の経験から、「お客さん」を意識したラベルの製作を行う。
	12/15 (2)	職業 AI (室井)		○	○			
		情報 (室井)		○	○			
	12/19 (3)	職業 AI (室井)		○	○			
12/21 (2)	職業 AI (室井)		○	○	○			●ラベル作りの経験を通して、働く意義を考えよう。 主・対 目標をもって取り組んだことや、納品した際に依頼された方に喜んでいただいたことをふりかえり、働くことで得られる達成感や喜びを生徒の実態に合わせて表現する。
	職業 AI (室井)		○	○	○			

【他の単元とのつながり】 対象生徒である1学年通常I型の年間指導計画によるものとする。

「過去の単元」	「現在の単元」	「今後の単元」
社会(作業学習)「社会参加しよう」 情報「咲笑祭のポスターを作ろう」 美術「文字のデザイン」 国語「敬語を使おう」	社会(生単)「公共施設の利用」 職業「いろいろな仕事」 情報「データの活用」	家庭(作業学習)「消費生活」 情報「製品販売会のポスターを作ろう」 国語「調べたことを報告しよう」

\*個別の指導目標については、生徒の学習の段階に応じて、設定して行い、学習評価をしていくこととする。

【内容のまとめりごとの評価規準と観点別学習状況の評価】

**通常Ⅰ型**\*生徒の実態に応じて、一人一人評価規準を設定し学習評価する。

教科	領域	① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に取り組む態度	手立て及び配慮事項	観点別学習状況の評価
職業科	2段階 Aア (ア) (イ) (ウ)	①勤労の意義について理解を深めている。 ②目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現している。 ③作業を通して貢献する喜びを感じたり、目標や計画性をもって主体的に取り組もうとしたりしている。	○勤労に関して具体的なイメージをもつことができるよう、作業学習で取り組んでいる作業活動や、現場実習での作業等と関連付けながら考えることができるようにする。 ○自他の役割や他者との協力を意識が向けられるよう、紙漉き作業が一人では行えないことに関して、紙ができるまでの一連の流れを視覚化して再確認する。	
	2段階 Aイ (ア)㊦ (イ)㊧	①材料の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。 ②生産や生育活動に係る技術に込められた工夫について考えている。 ③材料の特性や扱い方に関わる技術について理解を深めようとしたり、生産や生育活動により地域社会へ貢献しようとしたりしている。	○自分たちが製作した様々な品質の紙に、ラベル印刷を行い、より良いラベルや行うべき工夫について、グループで話し合う時間を設け、比較しながら考えることができるようにする。	
<p>〈キャリア発達を促す視点〉</p> <p>・課題対応能力：仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することのできる力。</p>				
国語科	1段階 (カ) Aエ	①日常よく使われる敬語を理解し、使っている。 ②相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ③日常よく使われる敬語を使おうとしたり、相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫したりしようとしている。	○敬語を実際に使うことができるよう、事前にロールプレイを通して実践する場面を取り入れる。 ○文章の中で「伝えたいこと」等の大事なポイントで強弱をつけたり間を取ったりすることができるよう、原稿に記号などで視覚化して実践できるようにする。	
社会科	1段階 ア(ア) ㊦㊧	①地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付けている。 ②社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現している。 ③社会生活の中での自分の役割や責任について考えたり、地域の中での自分の役割を果たそうとしたりしようとしている。	○地域に関する知見と興味関心を引き出すことができるよう、自分たちが生活する地域で様々な人が様々な役割を担っていることを、職業と福祉サービスの視点から調べ学習を行う。	

	<p>各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿          &lt;教科等横断的な資質・能力&gt;          ・情報活用能力：ICT等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理したりする力の育成を図る。</p>		
	<p>B          ア(ウ)          イ(ウ)</p>	<p>①身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けている。          ②効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの効果的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫している。          ③身近にある情報デザインの基本的な考え方や方法について知り、基礎的な技能を身に付けようとしたり、表現を工夫したりしようとしたりしている。</p>	<p>○「野菜 ラベル」等で画像検索を行い、様々な野菜のラベルについて調べることで、ラベルの情報デザインとしての特徴を掴むことができるようにする。          ○より効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインについて考えられるよう、ネギがどのような場所で売られているか、映像などを活用する。</p>
情報科	<p>各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿          &lt;教科等横断的な資質・能力&gt;          ・情報活用能力：ICT等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理したりする力の育成を図る。</p>		
	<p>&lt;キャリア発達を促す視点&gt;          ・課題対応能力：仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することのできる力。</p>		
道徳	<p>中学校          C          社会参画・          公共の精神</p>	<p>○社会参加の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めている。</p>	<p>○学習の深化を図るため、「社会」や「公共の精神」等の語句の意味や具体例、今回の学習とのつながりについて一つ一つ確認しながら学習を進めていく。</p>

通常Ⅱ型・重複※Ⅱ型・重複学級で学ぶ生徒の主な段階を示している。さらに各個人に合わせた段階で指導

し、学習評価を行う

教科	領域	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	手立て及び配慮事項	観点別学習状況の評価
職業科	中学部 2段階 Aア (ア) (イ) (ウ)	①働くことの目的などを理解している。 ②意欲や見通しをもって取り組み、自分や他者との関係や役割について考えている。 ③働くことの目的を理解しようとしたり、自分や他者との関係や役割について考えようとしたりしている。	○作業学習で行っている作業活動が働くことにつながる事が理解できるよう、将来の生活や実習での経験等を視覚的に提示する。 ○自他の役割や他者との協力に意識が向けられるよう、紙漉き作業が一人では行えないことに関して、紙ができるまでの一連の流れを視覚化して確認する。	
	中学部 2段階 Aイ (ア)㊦ (イ)㊧	①材料の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解している。 ②作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫している。 ③材料の特性や扱い方に関わる技術について理解をしようとしたり、作業の安全や衛生について考えたりしようとしたりしている。	○自分たちが製作した様々な品質の紙にラベル印刷を行い、比較し、「厚い」「薄い」等の表現を教師が代弁しながら考えることができるようにする。 ○グループで話し合う時間を設け、工夫についての考えの幅が広がるようにする。	
	<p>各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿            &lt;教科等横断的な資質・能力&gt;            ・情報活用能力…ICT等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理したりする力の育成を図る。</p>			
<p>&lt;キャリア発達を促す視点&gt;            ・課題対応能力：仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することのできる力。</p>				
国語科	中学部 1段階 (カ) Aエ	①普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使っている。 ②相手や目的に応じた話し方で話している。 ③丁寧な言葉を使おうとしたり、相手や目的に応じて話そうとしたりしている。	○丁寧な言葉について想起することができるよう、「ともだちと話すとき→おはよう」「先生と話すとき→おはようございます」など、日常的に使う挨拶などの言葉の違いを考える。 ○文章の中で大事なポイントで強弱をつけたり間を取ったりすることができるよう、原稿に記号や色分けなどで視覚化して実践できるようにする。	

社会科	中学部 1段階 ア(ア) ㊦㊧	①学校の中で意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解し、そのための知識や技能を身に付けている。 ②周囲の状況を判断し、集団生活の中で自分の役割と責任について考え、表現している ③協力しながら生活する必要性を理解しようとしたり、集団生活の中での自分の役割について考えようとしたりしている。	○協力しながら生活する必要性の理解を促すため、「ひとりでできること」「みんなでやればできること」等、学校生活の中で協力する場面を作業学習に置き換えながら考える。	
	<b>各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿</b> <b>&lt;教科等横断的な資質・能力&gt;</b> ・情報活用能力：ICT等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理したりする力の育成を図る。			
情報科	高等部 B ア(ウ) イ(ウ)	①身近にある情報デザインから、情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けている。 ②効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫している。 ③身近にある情報デザインから、基礎的な技能を身に付けようとしたり、表現を工夫したりしようとしたりしている。	○野菜のラベルにある情報（商品名等）について、不要な情報を遮断したり、注目してほしい情報を拡大したりして、情報デザインに関して注目できるようにし、焦点化する。	
	<b>&lt;キャリア発達を促す視点&gt;</b> ・課題対応能力：仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することのできる力。			
道徳	小学校 c 社会参画・ 公共の精神	○働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働いている。	○職業科の学びを振り返りながら、作業学習が働くことにつながることを再確認する。 ○「みんなのためにできること」の学習では、紙すき班の生徒や教師の顔写真を提示し、思考しやすいようにする。	

【本時の指導目標】

(情報科)

- ・情報デザインを表現する基礎的な技能を身に付けている。(知識・技能)
- ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの効果的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫している。  
(思考力・判断力・表現力等)

【キャリア発達を促す視点：課題対応能力】

- ・仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決している。

【本時の指導過程】

学習活動・内容	時間	主体的・対話的で深い学びの実現のための手立て (主・対・深) *評価計画				
1 始めのあいさつ 2 これまでの復習・本時の学習	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢を整え、学習の始まりに意識を向けることができるようにする。</li> <li>・試作品を納品したことや、社会参加について考えたことについて復習を行い、本時の予告を聞き、学習に対する見通しをもつ(主)</li> </ul>				
3 依頼された方からの感想を基に、試作品の課題を考える。 グループ <table border="1" data-bbox="119 784 582 974"> <tr> <td data-bbox="119 784 199 817">I型</td> <td data-bbox="199 784 582 817"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="119 817 199 851">II型</td> <td data-bbox="199 817 582 851"></td> </tr> </table>	I型		II型		15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○依頼された方に事前に4つにラベルを絞ってもらい、改善点や「こうしてほしい」点について意見をいただき、生徒に向けてビデオ撮影をしておく。</li> <li>・ラベルが依頼されている仕事だと言うことを再確認し、自分たちが行っていることが直接働くことにつながっていることへの理解や意欲につながるようにする。(主・深)</li> <li>・ラベルにおける情報デザインに係ることについて、「文字を見やすくするには」「情報を整理するには」など、一つ一つ考える。(主)</li> <li>・グループで試作品一つについて、いただいた意見をもとに、製品としてのラベルの課題と、どうすればよりよい製品になるか(改善点)について話し合う。(対)</li> <li>*ラベルの試作品から、課題を見出すことができたか。 [課題対応能力]</li> </ul>
I型						
II型						
4 より良いラベルをデザインする。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同ペアでパソコン一台、改善点をもとに、PowerPointを用いて既存のデザインの変更修正を行う。</li> <li>*ラベルの改善点をもとに、情報デザインに係る基礎的な操作等(文字のフォント、文字の大きさ、文字の色、画像添付、文字や画像の配置等)を行うことができているか。 [知識・技能]</li> <li>*ラベルにおける情報デザインを工夫して表現しているか。[思考力・判断力・表現力等]</li> <li>*ラベルをより良くしようとし、課題を解決することができたか。[課題対応能力]</li> </ul>				
4 全体共有	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれが行った活動を教師が説明しながら振り返ることを促す。</li> <li>・試作品のラベルから、「変更したところ」、「工夫したところ」について発表を行う。(主・対・深)</li> </ul>				
5 学習のまとめ 6 おわりのあいさつ	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時はラベルに適した紙の品質について考え、実際に適切な品質の紙を渡くことを予告し、学習の見通しをもつ。(主)</li> <li>・姿勢を正させ、学習の終わりに意識を向けることができるようにする。</li> </ul>				



【本時の評価規準及び手立てと学習評価】

	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	手立て及び配慮事項	学習評価
A	①情報デザインを表現する基礎的な技能を身に付けている。 ②効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの効果的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫している。	○ペアでの話し合いが円滑に進むよう、必要に応じて教師が代弁したり、意見を引き出したりする。 ○情報デザインに係わる技能に関して、マウス操作に困難さを感じている場合は、適宜タッチパネル等を使用するよう促す。 <b>支援内容・方法（個別に必要なとする合理的配慮等）</b> ・楽しい雰囲気や安心して取り組める状況を設定する。 ・理解しやすい言葉での指示や説明を行う。 ・難しい漢字には振り仮名を振る。 ・本人の話聞く時間の確保する。	
		<b>自立活動における指導事項</b> ・様々な学習活動の中で、成就感、満足感を味わい、自己肯定感を高めていくこと。	(自立活動) ・
<p><b>〈キャリア発達を促す視点〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題対応能力：仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することのできる力。</li> <li>・</li> </ul>			

	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	手立て及び配慮事項	学習評価
B	①情報デザインを表現する基礎的な技能を身に付けている。 ②効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの効果的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫している。	○ペアでの話し合いが円滑に進むよう、必要に応じて教師が代弁したり、意見を引き出したりする。 ○情報デザインに係わる技能に関して、マウス操作に困難さを感じている場合は、適宜タッチパネル等を使用するよう促す。 <b>支援内容・方法（個別に必要なとする合理的配慮等）</b> ・本人の様子を見ながら問い掛けたり、話しやすいような環境を作ったりする。 ・可能な限り支援を減らしながら見守り、自分から他者へ伝えられたときには、称賛し成功体験を積み重ねて自信に繋げる。	

		<p><b>自立活動における指導事項</b>          自分の気持ちや考えを言葉にしたり、言葉で表現したりする場面を多くもつことで、自分から相手に伝えられる力を身に付けることができるようにする。</p>	(自立活動)
<p>(キャリア発達を促す視点)          ・課題対応能力：仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することのできる力。</p>			

配置図

図書・情報処理室

